スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

京都府精華町

自 治 体 名 ： 京都府精華町
担 当 課 名 ： 生涯学習課
電 話 番 号 ： 0774-95-1907

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

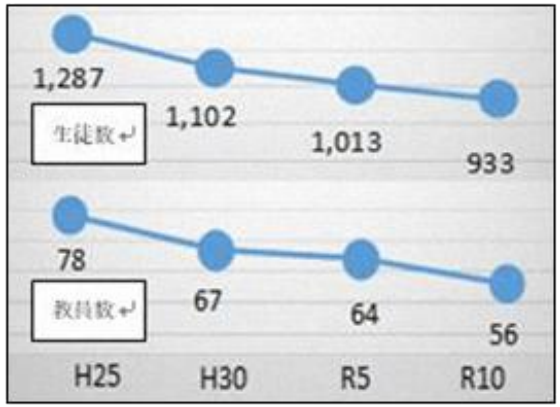
面積	25.68㎢
人口	35,753人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	944人
部活動数 （運動部活動のみ）	23部活
地域クラブ活動数	113部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

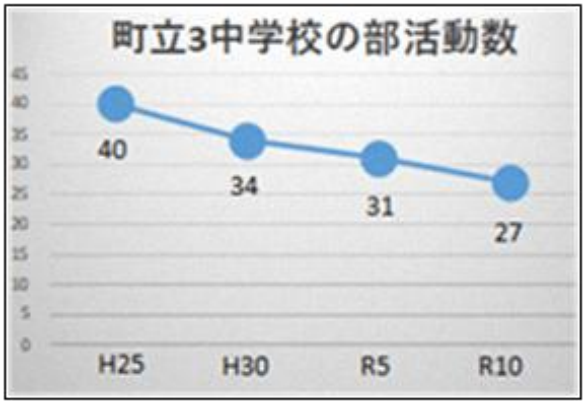
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

- 少子化が進む中、学校単位の部活動の存続が困難
  - 生徒数の減少で学校単独での活動や大会参加が困難
  - 部活動数の地域格差（生徒のニーズに合った活動の選択が困難）
  - 募集停止、廃部となる状況（生徒数、教員数減少に伴う部活動数の減少）
- 教員の業務改善
  - 教員（顧問）の不足、長時間勤務や休日の部活動指導による負担
  - 競技経験のない教員が顧問を務めている

（専門的な技術指導ができない顧問が半数、令和4年度調べ）

経験ない55.0%　経験ある45.0%





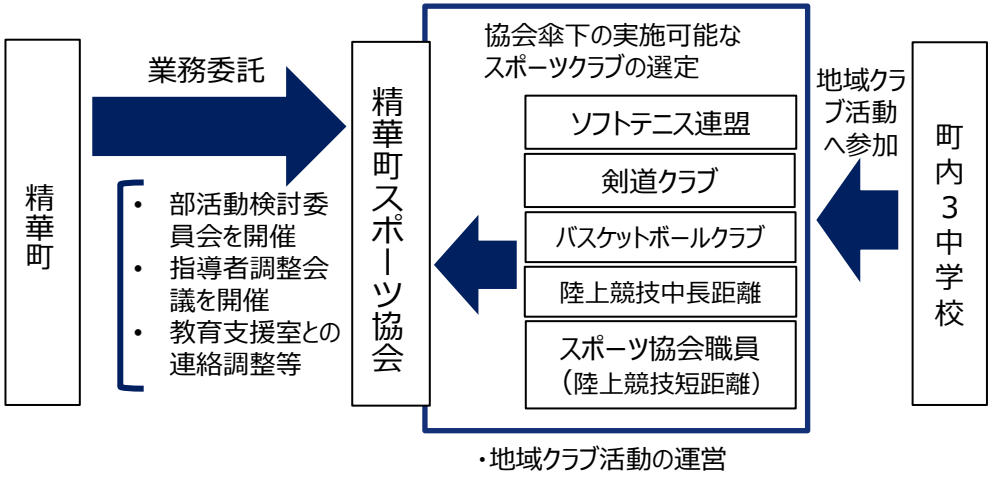
出典：精華町教育委員会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・教育支援室…学校との調整連携、学校に関する事項について
・生涯学習課…国・府からの連絡調整等一元的窓口
地域クラブ活動の認定
経済的困窮世帯の生徒への参加費等の支援補助金交付
その他中学校部活動の地域展開に係る事務の統括
再委託先との調整

年間の事業スケジュール

令和7年　4月　実務担当者会議

令和7年　7月　実務担当者会議

令和7年　7月　保護者生徒への通知

令和7年　8月　種目別調整会議

令和7年　9月　各種目実証事業開始

令和7年11月　種目別中間協議

令和8年　1月　全体総括会議

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		7クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		ソフトテニス部（2部活） 陸上競技部（3部活） 剣道部（2部活） バスケットボール部（4部活）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		なし
全体の指導者数	16人	全体の運営スタッフ数	16人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
精華町スポーツ協会	スポーツ協会	陸上短距離・跳躍・投てき	・休日　5回	8:30～ 10:00	中1 - 2名	9月～12月	2人	2人 （内、兼務0人）	500円/回	なし
ソフトテニス連盟	競技団体	ソフトテニス	・休日　3回	14:00～ 16:00	中1 - 8名 中2 - 21名	11月～12月	4人	4人 （内、兼務0人）	500円/回	なし
SEIKA BBクラブ	競技団体	バスケットボール	・休日　4回	19:00～ 21:00	中1 - 7名 中2 - 4名	10月～11月	2人	2人 （内、兼務0人）	500円/回	なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

・特に無し

2.実証内容と成果

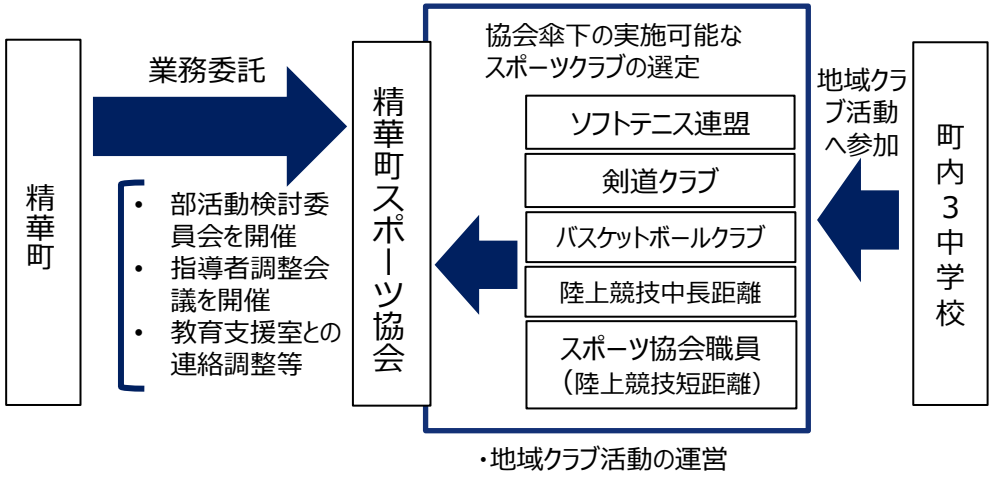
スポーツ庁

主な取組例

●精華町スポーツ協会　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス、剣道、バスケットボール、陸上競技短距離・中長距離
運営団体名	精華町スポーツ協会
期間と日数	各競技とも2学期の休日に月2回程度
指導者の主な属性	スポーツ協会職員、日本陸連ジュニアコーチ等
活動場所	町内小中学校ほか
主な移動手段	自転車、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	各競技500円/回
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として全体の調整を行う

●主任指導者　19名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者　19名（主任指導者を兼ねる）

役割：活動において運営の準備や補助を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

運動部活動の地域移行に係る総括的なコーディネートを精華町スポーツ協会が行い、スポーツ協会に加盟する団体の中から、提示する実施条件で実証事業が可能な競技種目を選定し、団体の主たる活動場所において、参加を希望する町内3中学校の生徒を対象に実証事業を行う。

取組の成果

- 統括コーディネーターをスポーツ協会に配置したことにより、実質的な指導を行うスポーツ協会傘下のクラブチームとの連携について、円滑に行うことができた。
- 府との事務的な調整を生涯学習課で行い、学校との連携を教育支援室が行う中で、生涯学習課と教育支援室、スポーツ協会の連携や役割分担、情報共有等について、円滑に行うことができた。
- クラブチームとの協議を事前、中間、総括とフェーズを進める中で都度行うことにより、直面する課題や今後の地域展開への意見を確認できた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター】
実指導を行うクラブの代表者との必要な物品の調整やスポーツ保険の対応、ハラスメントに係るハンドブックの配布 等 を行い、地域のスポーツクラブが円滑に指導にあたれるように調整を行うほか、教育委員会との連携　等について、中心的な役割を果たした。

今後の課題と対応方針

公的支援の今後の方向性が不明確な状況下において自走式の運営を念頭に実証事業を進めたが、部活動の地域展開の主体となるクラブチームからは、実証事業の事務量の多さ、指導にあたって求められる要件、運営にあたっての収支バランス調整等、負担感が大きい。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

将来的な財源の課題がある中で、自走できる運営を目指して、スポーツ協会傘下のクラブチームの中から、中学生の受入れが可能、もしくは既に受け入れているチームの中から、実証事業に参画いただけるチームを選定し実証事業を行った。

2年目となる令和7年度については、前年度からの継続チームと新規のチームに実証事業に参加していただき、経験値のある2年目、新規の1年目それぞれにどのような違いがあるのか、また、種目が違うとどの様な課題があるのか等を探ることができた。

しかしながら、実証事業が概ね終盤を迎えたころに発出された、新たなガイドラインに則したチーム運営が可能かどうか、可能であってもどの程度の地域クラブが賛同し、令和8年度以降の地域展開を支えていただけるのか新たな課題が発生した。

今後についても、ガイドラインに則した運営に必要な財源の課題や実施場所の確保等についての問題はあるが、スポーツ協会を主体とした地域展開の推進を図る。

●成果の評価

- 昨年度において既に活動している地域スポーツクラブに中学生が加わるという形式であるため、各クラブの財源的課題は、地域展開を行う上で相当に大きな課題ではないと認識していたが、新たなガイドラインに則り運営する為には複数名の指導者体制やクラブ運営に関して兼職が不可能な役職を複数名揃える必要等、人件費に類するような財源的課題が改めて浮き彫りとなった。
- 実施場所の確保については、各種大会の改革が遅れているため、学校部活動との取り合いが課題となった。休日の学校部活動が行われている状況下で、実証事業のために学校施設を開放することについては、相当に困難であることが改めて判明した。
- スポーツ協会傘下の地域スポーツクラブが主体となり、持続可能な自走型の休日の学校部活動の地域展開について、令和8年度以降も引き続き研究する必要性を確認した。

●今後に向けて

- ガイドラインに則った部活動の地域展開が可能なクラブ運営に際し、人的、質的な基準をクリアする為にどの程度の経費が必要となるのか、国の補助スキームを活用しながら、今後も確認していく必要がある。
- また、各種部活動により大会シーズン等も異なり、結果的に年間を通じて休日の部活動が各施設で発生し、地域展開を行うチームに場所が提供されない課題は大きく、活動場所の確保が大きな課題である。大会参加を控えた生徒にとっては地域展開による部活動の場所の確保は迷惑にしかならず、大会の改革が急がれる。

2.実証内容と成果②

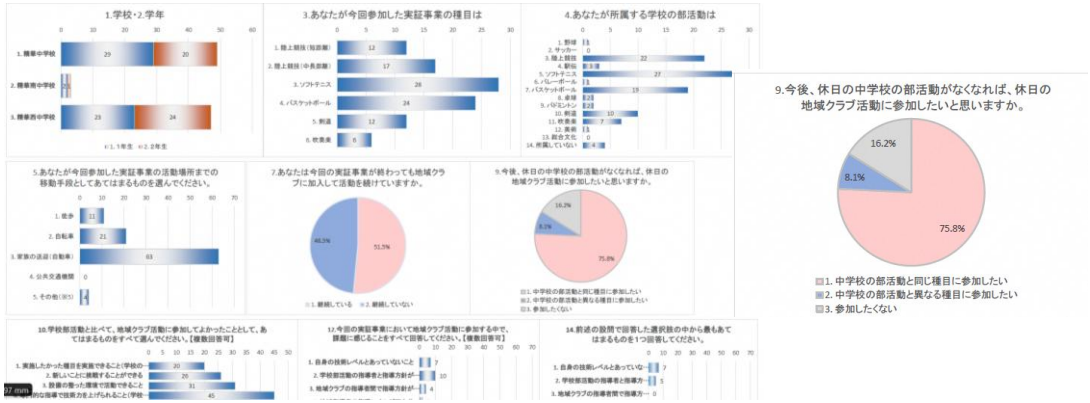
スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

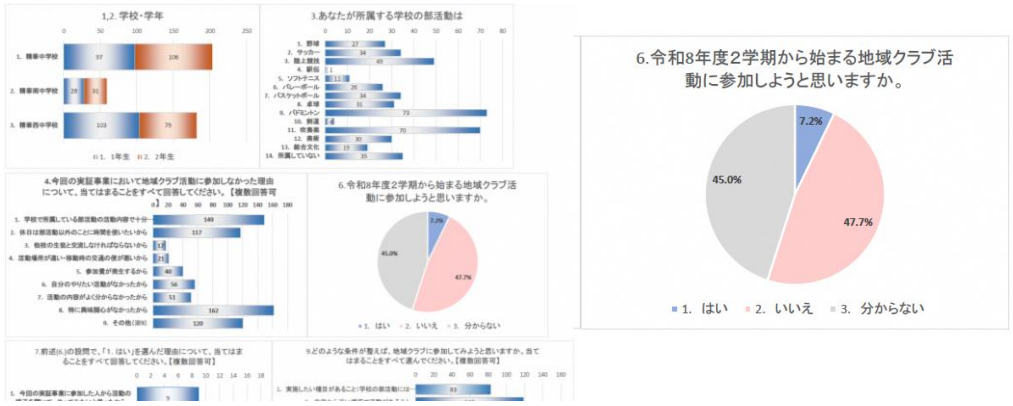
●アンケート結果

※アンケートについては、参考に記載した参加生徒、不参加生徒以外にも保護者やクラブ顧問、地域クラブ指導者にも実施

実証事業参加生徒へのアンケート



実証事業不参加生徒へのアンケート



●参加者/関係者の声

参加者/生徒

- 友達と競技力を上げれるため参加した
- 実証事業に参加して楽しかったので継続したい
- 活動する場所が遠い
- 休日部活動がなくなるのは嫌だ

参加者/生徒保護者

- 部活に比べてのびのびと活動することができた
- 学校のクラブの移行であれば無料が望ましい
- 試合について、地域クラブと学校部活のどちらか一択になっている。子供にとってはどちらも大切な場所であり、かわいそう

学校部活動顧問

- 施設管理主に鍵や営繕関係で課題がある
- 大会前で部活をやりたくても地域展開でできないケースが考えられる
- 活動場所の問題で地域クラブに不公平が生じるのでは

不参加者/生徒

- 実証事業に自分の入っている部活動がなかったので参加しなかった
- （実証事業を行っている事を）知らなかった
- 普通に休日でも部活動がしたい

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料

精華町立中学校　１年生・２年生、保護者の皆様

精華町教育委員会主催　R7 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

参加者募集のご案内

（ソフトテニス・陸上競技・バスケットボール・剣道）

令和８年度の学校部活動改革に向け、学校と地域が連携して、スポーツや文化芸術活動が将来にわたり持続可能となる環境づくりを地域に創出することに取り組んでいます。精華町では、令和８年度２学期から、土日の学校部活動を原則行わないことで、休日は地域でスポーツ・文化芸術活動の機会に参加する子どもたちが増えることを想定して、その環境づくりの準備を進めており、ご案内の実証事業はその一環の取組です。

下記及び裏面の案内を参照いただき、ご希望があれば裏面の申込方法よりお申し込みください。

なお、精華町スポーツ協会ホームページに実証事業の詳細が掲載されています。

実施種目

①ソフトテニス
②陸上競技（短距離・中長距離・跳躍・投てき）
③バスケットボール
④剣道

参加対象者

精華町内中学校在籍の1年生・2年生
※学校部活動ではありませんので、参加は任意（希望制）です。
学校の部活動所属の有無は問いません。

参加費用

1回　500 円（都度徴収）
※既に地域クラブに所属している生徒は不要
実証事業においては、運営側で「スポーツ安全保険」に加入しますので保険料はかかりません。
会場までの交通費は参加者負担となります。

実施主体・お問合せ先

精華町スポーツ協会 実証事業担当　98-0200
※実施団体（スポーツ協会加盟団体）は裏面に記載しています。
※ご不明な点等ありましたら、精華町スポーツ協会ホームページの問い合わせフォームよりお問い合わせください。

実施期間

令和7年10月～12月
※期間中に計6回程度開催
（土曜か日曜に開催）
実施種目①②③④の学校部活動とは日程を調整していますので活動は重なりません。

その他

- 活動場所への行き帰り（移動手段）はご家庭でお願いします。
- 緊急時（中止連絡等）は、精華町スポーツ協会のホームページでお知らせします。
- 初心者から経験者まで誰でも参加できます。指導内容等に関するお問い合わせは直接実施団体にご連絡ください。
- 指導は実施団体の指導者がおこないますが、実施団体の通常活動であり、特別な指導を行うことはありません。各団体の活動紹介を参考にしてください。
- 団体によっては、中学生以外の方も参加される場合があります。
- 参加したい日のみの参加も可能です。欠席の連絡は原則不要ですが、実施団体からの指示がある場合はそちらに従ってください。

裏面の申込方法をご覧ください。

申込期限：令和７年９月 23 日（火）

【参加募集案内 表面】

■ 実証事業の紹介

※各競技の詳細（日程、実施回数、持ち物等）は精華町スポーツ協会ホームページをご覧ください。

① ソフトテニス



1 実施団体　精華町ソフトテニス連盟
2 活動場所　池谷公園・精華西中
3 活動時間　14:00～16:30
4 指導内容　基礎体力の向上と、技術レベルに合わせたソフトテニスの指導。スポーツマンシップの向上と、協同、自主精神の育成。

② 陸上競技（短距離・跳躍・投てき）



1 実施団体　精華町スポーツ協会
2 活動場所　むくのき・精華南中・精華中・精華台小
3 活動時間　8:30～10:00
4 指導内容　走技術の基礎能力向上、個々の長所を伸ばして参加者の質問にお答えし、走る楽しさを実感できる指導を心がけています。

② 陸上競技（中・長距離）



1 実施団体　精華 AC ジュニア
2 活動場所　むくのき・精華南中・精華中・精華台小
3 活動時間　8:30～10:00
4 指導内容　トラック競技や駅伝大会、ロードレースで活躍できるよう動きづくりやスピード・持久力を高める練習に取り組みます。

③ バスケットボール



1 実施団体　SEIKA BB CLUB
2 活動場所　精華中
3 活動時間　19:00～21:00
4 指導内容　ウォームアップから体幹、フットワーク、ドリブル、シュート、ゲーム、クールダウンと一連の練習の中で、内容を変えながらスキルアップを目指す。

③ バスケットボール



1 実施団体　BLAST
2 活動場所　精華西中・精華南中
3 活動時間　19:00～21:00
4 指導内容　『ドリブル・シュート・ディフェンスなどバスケの基礎スキルが身につくように！！』
・様々な 1 対 1 による個人スキルアップ

④ 剣道



1 実施団体　京都　誠風館
2 活動場所　東光小
3 活動時間　9:00～12:00
4 指導内容　礼節を尊び、剣道の修練を重ね、旺盛な気力と、何ものにも負けない強い心を育てる。剣道の基本を正しく学び、技術を向上させ、生涯にわたる心身の鍛錬の道とする。

④ 剣道



1 実施団体　精華町少年剣道クラブ
2 活動場所　精華台小
3 活動時間　17:00～19:00
4 指導内容　当人の経験等、レベルに応じた基本指導、礼法、作法の指導、剣道技術・技能全般についての指導を実施します。

◆申し込みはこちらから◆
（各競技共通です）

精華町スポーツ協会ホームページ（下記 URL 又は二次元コード）の申込フォームよりお申し込みください。
（申込期限後については、直接「精華町スポーツ協会」までご連絡ください）
「精華町スポーツ協会ホームページ」
https://seika-sports.jp/202509tiiki-sportsclub/

二次元コードはこちら

【参加募集案内 裏面】

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



【ソフトテニス】



【バスケットボール 1】



【剣道 1】



【剣道 2】

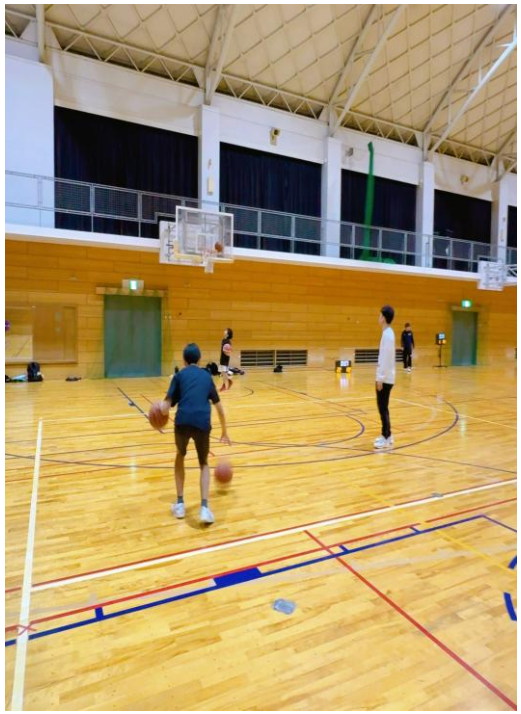
2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



【陸上 中長距離】



【バスケットボール 2】



【陸上 短距離】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年		令和6年		令和7年	令和8年
協議会設置、検討開始	運営主体や地域移行（展開）の形式調整	学校調整、生徒、保護者への説明	スポーツ協会による、クラブチームが実施主体となる実証事業開始	地域クラブ活動の拡大	2学期より原則休日部活動の地域展開本格実施

●ステークホルダー

町立中学校生徒及び保護者、町立中学校、スポーツ協会登録地域クラブ、精華町スポーツ協会、精華町教育委員会

●経過

令和5年度に精華町学校部活動地域移行に係る準備委員会を設置し、持続可能で本町の特性に合う部活動の地域移行の手法を検討、実証を行う中で課題解決を進め、令和8年度の原則休日の部活動廃止を目指す。

●実施内容

中学校の大会等参加を考慮し、部活の顧問の先生方と2学期10 月 から12月までの間で、土日の部活との兼ね合いを調整し実施した。

種目はソフトテニス、剣道、バスケットボール、陸上競技の短距離・中長距離に取り組み、スポーツ協会傘下の地域登録クラブで、これまでに中学生の指導経験があるクラブやスポーツ協会の直営により各種目共に月2回程度、合計6回の事業を実施した。

●実施にあたって生じた課題

○ 持続可能な活動のため、生徒の参加費用のあり方等を含む全般的な財源的課題

○ 学校部活動との活動場所の取り合いや優先確保、老朽化等所の課題

○ 新たなガイドラインに基づく、地域クラブに求める運営や指導等の質的レベルの高さやそれをクリアする為の各種負担の課題

●今後の展開

令和8年度の原則休日の部活動廃止を目指し、令和7年度は新たな種目等も増やし実証事業を行った。今後も幅広い競技種目の増加や同一種目においても、競技指向、レクリエーション指向等性格の異なる多様性を創出する等、可能な範囲で多くの選択肢を用意したい。新ガイドラインに適正に対応するための調整を委託先のスポーツ協会と図っていく。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和5年　・協議会設置、検討開始　・運営主体や地域移行（展開）の形式調整

↓

令和6年　4～6月・スポーツ協会との協議調整　・実証受入クラブの最終選定　7～9月・生徒、保護者向けチラシ配布等の周知　・実証クラブ、部活担当顧問、スポーツ協会調整会議　10～12月・実証事業　1月・総括会議

↓

令和7年　4～6月・スポーツ協会との協議調整　・実証受入クラブの最終選定　7～9月・生徒、保護者向けチラシ配布等の周知　・実証クラブ、部活担当顧問、スポーツ協会調整会議　10～12月・実証事業・令和8年からの土日部活動完全移行に向けての協議調整　1月・総括会議・令和8年協議　2～3月・令和8年方針の最終決定と準備

↓

令和8年　2学期から土・日曜日の部活動完全地域展開開始